

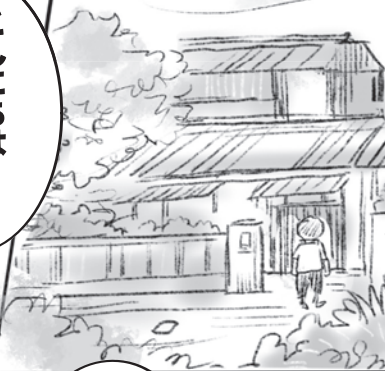
歴史マンガ 西南戦争

木葉編

一戦いのあと

2020(令和2年)春
熊本県玉東町

こんにちは
おじちゃん



おー
おかえりー
源ちゃん



もう何年生に
なったかな



6年生に
なったよー



何は持つとるんか



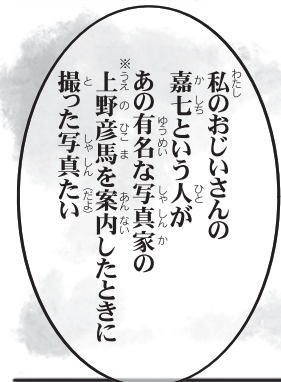
これかい



今から143年前の
西南戦争の頃のもんでな



私のおじいさんの
嘉七という人が
あの有名な写真家の
上野彦馬を案内したときに
撮った写真だい



〈明治〉

〈令和〉



登場人物紹介

1877 (明治10) 年4月

お——い

彦馬しゃん
彦馬しゃん
飯ば——い!

おい
聞こえとつとなー

松本嘉七

聞こえとります
嘉七さん

上野彦馬

よかつたあ
あんまり
動かんけん

写真を撮
撮ってるんです

へえー
これが写真でやつかい
魂がおつとられるとだろっ?

もう



残兵の放った
流れ弾にあたり…



おいっ
源!

大丈夫かー

鉛の毒がまわるので
腕は切り落しました…



そう
そうでしたか

さすが
薩摩隼人ばい
もう復帰されるとは…

あついや気にされるな
言葉なまりから
薩摩の人かと思つて

申し訳なかつです
薩摩の人間が
このようにしてもて

あたちも
同郷同士で
大変なこつたい



さあ
元気だせ

次は二俣まで
行くはい
護衛もおろすし
安心して行けるはい

もち

ありがとう
ございます

——という話でな
戦後はみんな大変だった

戦争なんてなんも
良かことはなかつた
話したい

ふーん

源吉さん大丈夫
だったかなあ

平和が一番
忘れたらいかんぞ！

はいっ